

パワーリフティング全国大会

優勝の苅谷さんら4人
岡崎市長に快挙報告

バーベルを三種類の方法で上げ、合計の重さを競う「パワーリフティング」の全国大会で優勝した選手ら四人が十八日、岡崎市役所を訪れ、成績を内田康宏市長に報告した。

(鎌田旭昇)

訪れたのは岡崎城西高校二年の苅谷賢展さん(一)と愛知学院大一年の土屋潤人さん(二)、親子で出場した介護職パートの梅村優子さん(三)と城北中学校二年の優利さん(四)の四人。

十一月に長野県白馬村であつた全国大会「ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会」で、梅村優子さんは一般女子84キロ級で、苅谷さんは十八歳以下にも出場する。

パワーリフティングはバーベルを肩に担いで屈伸する「スクワット」と、ベンチ台に横になりバーベルを持ち上げる「ベンチプレス」、床に置いてあるバーベルを腰付近まで引き上げる「デッドリフト」があり、三つのバーベルの総重量で競う。苅谷さんは全国大会で合計五百二十五キロを挙げた。

苅谷さんは「想像以上の結果だった。世界大会では優勝したい」と話した。内田市長は「岡崎の看板を背負って戦ってもらえてありがたい。これからも頑張ってもらいたい」とたたえた。